

第5回駿河海岸保全検討委員会 議事要旨

日 時 平成 29 年 3 月 13 日(木) 15:30～17:00
場 所 レイアアップ御幸町ビル 5 階 会議室 5-D
出席者 東京大学大学院 佐藤教授
名古屋大学大学院 水谷教授
静岡大学 原田准教授
国土技術政策総合研究所 加藤海岸研究室長
静岡県交通基盤部 長繩河川砂防局長
中部地方整備局河川部 松浦河川調査官
中部地方整備局静岡河川事務所 犬飼事務所長

< 議事 >

○離岸堤・養浜計画（汀線変化）について

- ・打ち上げ高については、実際の越波の状況も踏まえ、地区ごとで一番厳しい条件（波向等）での確認もされたい。
- ・直轄による事業期間の平成 46 年度末時点において、最初に設置した有脚式離岸堤の耐用年数 50 年に近づくことから、今後、施設の維持管理についても議論が必要。
- ・漂砂管理計画（案）については、大井川左岸域に特化した記載となっており、大井川右岸域の有脚式離岸堤についての記載がないため追記すること。なお、右岸域の有脚式離岸堤設置予定区間においては、打ち上げによる越波の可能性が少ないことから、「今後のモニタリング等の結果を踏まえ実施の判断をする」旨が記載されていることが望ましい。
- ・養浜については、今回の養浜計画（案）における投入場所及び投入量を基本とするが、汀線の侵食状況等により、実際に養浜する際は順応的に投入場所及び投入量を調整するという考え方で問題はない。
- ・今後、海岸堤防の背後に市町が実施する L1 以上の盛土が予定されているが、国による海岸保全施設整備については、今後、国として責任を持って、計画する安全度を確保するという考え方を基本として進めていくとともに、越波による盛土への影響や L1 以上の盛土を前提とした整備水準など、議論を深めていきたい。
- ・離岸堤・養浜等については、今回、提示された駿河海岸漂砂管理計画（案）で、当面、進めていくことが確認された。

○今後の予定

- ・委員会は、来年度以降も 1～2 回/年程度の開催を予定する。
- ・来年度は 10 月頃に粘り強い堤防の現場視察、年度末にフォローアップについて予定する。